

栄光のオランダ絵画と日本展

日本とオランダが最も積極的に通商した17世紀の時代背景とオランダの風俗を示す「黄金時代」の油彩画と古地図の名品を展観、あわせて、ハーグ派からファンゴッホに至る18～19世紀のオランダ独自の美意識を示す風景画を展示し、オランダ絵画の流れを概観した。またオランダ絵画の影響を受けた司馬江漢をはじめとする江戸時代の日本の洋風画や、日本製の古地図を展示し、オランダ絵画のヴィジョンや新しい世界観の受容と日本での変様の状況を明らかにした。ほかに日蘭交流によって生まれた漆器、陶磁器などの絵画表現がなされた工芸品も展示し、幅広い視点でオランダとの交流をとらえようとした。

当館所蔵の「泰西王侯騎馬図」の原図となった騎馬図の描かれた古地図「1646年版ブラウ大型世界地図」、ゴッホのオランダ時代の名品「日没の風景」や「アムステルダム運河の景」アルル時代の「麦畑」、「解体新書」の扉絵、レンブラントのエッチング「自画像」などオランダ国内18ヶ所の美術館・博物館や個人所蔵家から厳選された貴重な作品が出品された。



※この図録は完売いたしました。

会期／平成5年7月24日（土）～9月19日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

主催／神戸市立博物館、たばこと塩の博物館、朝日新聞社

後援／外務省、文化庁、オランダ大使館、（財）日蘭学会、アムステルダム歴史博物館

特別協賛／ダイエー

協力／KLMオランダ航空会社

開催日数／50日

入館者数／39,073人（781人／日）

出品件数／17～19世紀のオランダの油彩画の名品40点、素描・版画15点

17～19世紀の陶器・漆器・古地図の名品45点計100点